

おいしいくにじゅくへり

脚本・絵 宮崎 いづみ

①

あるところに

お肉が 大好きな 王様の

住んでいる国がありました。

王様は、お肉さえ 食べていけば

それは もう 幸せで

他には 何にも いりませんでした。

②

さて、そのおとなり

やさいが大好きな 王様の

住んでいる 国がありました。

王様は、やさいさえ 食べていけば

それは もう 幸せで

他には 何にも いませんでした。

— ぬく —

③

ある時 お肉が 大好きな 王様は
お城のまわりを 牧場にして
牛を たくさん 飼おうと
思い立ちました。

そうすれば いつでも

おなかいっぱい お肉を

食べられると 思ったからです。

一方、やさいが大好きな 王様は
お城のまわりを 畑にして
やさいを たくさん 育てようと
思い立ちました。

そうすれば いつでも

おなかいっぱい やさいを

食べられると 思ったからです。

⑤

そんな 2つの国は
対立し

とうとう戦争になって
しまいました。

―ぬく―

⑥

長く戦争は 続きましたが
勝ち負けは 決まりません。

お城のまわりは あれ放題となり
牧場にも 畑にも
できなくなつて しまいました。

どうしたものか、

2人の王様は

困りはててしまいました。

そのうえ、空まで

おこりだして しまったのです。

雷は ゴロゴロ ゴロゴロ

鳴りひびき

雨は どんどん どんどん

降りつづき

すべての物が

流されてしまいました。

何日も 降り続いた雨が
やっと やむと

なんと そこには

大きな 大きな

池ができて いました。

2人の王様たちは

池で泳ぐ魚をみつけると

仲良く つりを 始めました。

その魚の おいしいことといたら
ありません。

王様たちは、おなかをすかせた

2つの国の みんなに

魚をわけて あげることになりました。

おながが いっぱいになった
兵士たちは

武器をすてて あれた土地を
耕し始めました。

いっしょうけんめい 働いて
牧場も畑も 仲良く半分ずつ
作ることに しました。

その おかげで この国では
肉も やさいも たくさん
食べられるように なりました。

うわさを ききつけて

海の国と 山の国の おひめさまが

それぞれ おいしい

おみやげを持って やって来ました。

いろいろな食べ物に あふれた

この国の人たちは

とても 元気に なりました。

そして いつまでも

幸せに くらしました。